

- 問1 1980年代後半から1990年代初頭にかけての日本経済の動きと、その特徴について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 円安の影響で輸出が爆発的に伸び、国内の物価が安定したまま実体経済が拡大し続けた好景気である。 | 2. 銀行の貸し出し増加を背景に地価や株価が異常に高騰したが、1990年代初頭に価格が急落して崩壊した。 | 3. 公害問題の激化を受けて、政府が経済成長よりも環境保護を最優先する政策に転換した時期である。 | 4. 1973年の石油危機をきっかけに、重化学工業を中心とした高い経済成長率が維持された状態を指す。 |
|---|--|--|--|
- 問2 1990年から1992年にかけての国際連合加盟国数の推移を見ると、短期間に加盟国が急増しています。この背景として最も適切な歴史的出来事はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. ドイツの統一に伴い、東西に分かれていた国家が一つにまとまったこと | 2. ロシア革命が起こり、ソビエト社会主義共和国連邦が樹立されたこと | 3. ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと | 4. アフリカの年と呼ばれた時期に、多くの植民地が独立を果たしたこと |
|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問3 1989年に冷戦の終結が宣言された後、国際社会は新たな秩序を模索し始めました。そのような状況下で、1990年にイラクがクウェートに侵攻したことをきっかけとして、1991年にアメリカを中心とする多国籍軍が派遣され勃発した紛争の名称を選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------------|--------------|---------|
| 1. ベトナム戦争 | 2. イラン・イラク戦争 | 3. アフガニスタン戦争 | 4. 湾岸戦争 |
|-----------|--------------|--------------|---------|
- 問4 大田昌秀知事の在任中に糸満市に建設された「平和の礎」には、それまでの戦没者慰霊碑にはあまり見られなかった大きな特徴があります。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|-----------------------------------|--|
| 1. 日本兵だけでなく、アメリカ兵や朝鮮半島・台湾出身者など、敵味方の区別なく全戦没者の氏名を刻んでいる。 | 2. 米軍基地の返還を求める抗議文が、英語と日本語の二ヶ国語ですべての石碑に刻まれている。 | 3. 沖縄県出身の軍人および軍属の氏名のみを、階級順に刻んでいる。 | 4. 沖縄返還を実現するために尽力した歴代知事や政治家の功績を称える内容が刻まれている。 |
|---|---|-----------------------------------|--|
- 問5 1992年に制定された国際平和協力法（PKO協力法）に基づき、自衛隊の部隊が国際平和維持活動（PKO）のために初めて派遣された国はどこですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|----------|---------|
| 1. ベトナム | 2. アフガニスタン | 3. カンボジア | 4. キューバ |
|---------|------------|----------|---------|
- 問6 1980年代後半から1990年代にかけて冷戦が終結し、国際情勢が大きく変化しました。これを受け、日本が国連の平和維持活動に積極的に貢献するために1992年に制定し、自衛隊の海外派遣などを可能にした法律を選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|--------------------|----------|
| 1. 国家総動員法 | 2. 警察予備隊令 | 3. 国際平和協力法（PKO協力法） | 4. 治安維持法 |
|-----------|-----------|--------------------|----------|
- 問7 1980年代後半から1990年代初めにかけての日本経済の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 技術革新によって国際競争力が強まり、輸出が急増して貿易黒字が社会問題化した。 | 2. 株式や土地の価格が異常に上昇したが、1990年代に入ると急落して景気が後退した。 | 3. 石油価格の急騰により物価が激しく上昇し、戦後初めてマイナス成長を記録した。 | 4. 年平均10%を超える高い経済成長を続け、国民の所得が大幅に増加した。 |
|---|---|--|---------------------------------------|
- 問8 1980年代後半に日本で起こった「バブル景気」とはどのような現象か、その仕組みや特徴として適切な記述を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 急激な円高によって輸出産業が打撃を受け、国内の物価が急速に下がった現象。 | 2. 政府が公共投資を大幅に削減したことで、企業の生産活動が停滞し失業者が増大した現象。 | 3. 高度経済成長が終わり、省エネルギーを進めることで安定成長へと移行した現象。 | 4. 株式や土地に対する将来への過剰な期待から、資産価格が実力以上に膨れ上がった現象。 |
|---|--|--|---|
- 問9 南アフリカ共和国で1991年まで維持された「アパルトヘイト」の具体的な状況や、その後の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 国際連合においてあらゆる形態の人種差別を撤廃することを目的に締結された条約であり、これをきっかけにアフリカ大陸全土の植民地が独立した。 | 2. 少数の白人が政治や経済を独占し、黒人の居住地や就業、参政権などを厳しく制限したが、廃止後は多様な人々が共に社会活動を行えるようになった。 | 3. 特定の宗教や身分制度に基づき、職業の選択や住む場所を法的に固定化していたが、経済発展に伴い人種間の格差が自然に解消された。 | 4. アジア系など特定の有色人種の移民を厳しく制限することで、白人中心の伝統的な社会を維持しようとしたが、国際的な人道支援により緩和された。 |
|--|---|--|--|
- 問10 第二次世界大戦後から続いた、アメリカを中心とする資本主義陣営とソビエト連邦を中心とする社会主義陣営による「冷戦」の終結を、1989年に米ソ両首脳が公式に宣言した出来事を何といいますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|----------|-----------|----------|
| 1. サンフランシスコ平和会議 | 2. ヤルタ会議 | 3. ポツダム会議 | 4. マルタ会議 |
|-----------------|----------|-----------|----------|
- 問11 1989年、アメリカ合衆国のブッシュ大統領とソビエト連邦のゴルバチョフ書記長が地中海の島で会談を行い、第二次世界大戦後から長く続いていた「冷戦」の終結を宣言しました。この歴史的な会談を何と呼びますか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------------|----------|-----------|
| 1. マルタ会議 | 2. サンフランシスコ講和会議 | 3. ヤルタ会議 | 4. ポツダム会議 |
|----------|-----------------|----------|-----------|
- 問12 岩手県の人口動態において、20世紀半ばから21世紀初頭にかけての統計的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。 | 2. 1900年から1940年にかけて人口が倍増したが、1950年代に人口が140万人を大きく割り込む原因となった。 | 3. 1950年代から2000年にかけて人口は一貫して増え続け、21世紀に入ってから初めて140万人の大台に乗った。 | 4. 1880年から現代まで、岩手県の人口は常に80万人から100万人の間で推移しており、140万人に達した時期はない。 |
|---|--|--|--|
- 問13 1989年に地中海のマルタで行われた会談において、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が、第二次世界大戦後から続いていた西側諸国と東側諸国の対立に終止符を打つことを宣言した出来事を何といいますか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|------------|--------------|
| 1. 冷戦の終結 | 2. 第一次石油危機 | 3. 国際連合の設立 | 4. ベルリンの壁の建設 |
|----------|------------|------------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 銀行の貸し出し増加を背景に地価や株価が異常に高騰したが、1990年代初頭に価格が急落して崩壊した。	バブル経済は、土地を持っていれば必ず値上がりするという「土地神話」などを背景に、銀行が土地を担保に多額の融資を行ったことで加速しました。しかし、政府の金融引き締めなどをきっかけに地価や株価が暴落し、銀行には回収不能な「不良債権」が大量に残ることとなりました。これにより、日本経済は「失われた10年」と呼ばれる長い不況に陥りました。
問2	答え 3 ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと	冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊を経て、1991年にソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が解体されました。これにより、ウクライナや中央アジアの諸国など、それまでソ連の構成員であった多くの共和国が独立国家となり、それぞれが国際連合に加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が劇的に増加しました。
問3	答え 4 湾岸戦争	1991年の湾岸戦争は、冷戦が終結したことで米ソが協調できる体制が整い、国連の決議に基づいて多国籍軍が編成された最初の大きな軍事行動でした。冷戦後の世界では、大国間の全面戦争の脅威は低下したものの、中東などの地域で根深い対立が表面化し、新たな紛争が相次ぐことになりました。
問4	答え 1 日本兵だけでなく、アメリカ兵や朝鮮半島・台湾出身者など、敵味方の区別なく全戦没者の氏名を刻んでいる。	「平和の礎」は、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、国籍や立場に関わらず沖縄戦で亡くなったすべての人々を追悼しています。このような「刻銘」による慰霊のあり方は、国内外から高い評価を受けています。
問5	答え 3 カンボジア	1991年の湾岸戦争において、日本は多額の資金協力を行ったものの、人的な貢献が不十分であるとの批判を国際社会から受けました。これを受け、翌1992年に国際平和協力法（PKO協法力法）が制定され、同年に内戦が終結したカンボジアの復興支援を目的として、自衛隊が初めて海外へ派遣されました。
問6	答え 3 国際平和協力法（PKO協法力法）	冷戦の終結によって、世界各地で発生する紛争に対する国際的な平和維持活動の重要性が高まりました。日本はそれまでの資金協力だけでなく、人的な貢献も求められるようになったため、国際平和協力法（PKO協法力法）を制定しました。これにより、自衛隊がカンボジアなどの国際連合平和維持活動（PKO）へ参加する道が開かれました。
問7	答え 2 株式や土地の価格が異常に上昇したが、1990年代に入ると急落して景気が後退した。	1980年代後半は、低金利政策などを背景に余った資金が株式や土地の購入に流れ込み、地価や株価が実体経済を無視して高騰しました。しかし、1990年代初頭に政府の金融引き締めなどによってこの状況は終わりを迎え、資産価値の暴落を招きました。石油価格の急騰は1970年代のオイルショック、10%を超える成長は1950年代半ばからの高度経済成長期の説明です。
問8	答え 4 株式や土地に対する将来への過剰な期待から、資産価格が実力以上に膨れ上がった現象。	バブル景気は、泡（バブル）が膨らむように、中身が伴わないまま価値が膨張した状態を指します。土地を持っていれば必ず値上がりするという「土地神話」などを背景に、銀行が積極的に融資を行い、その資金がさらに株式や土地の購入に充てられることで、異常な価格高騰を招きました。
問9	答え 2 少数の白人が政治や経済を独占し、黒人の居住地や就業、参政権などを厳しく制限したが、廃止後は多様な人々が共に社会活動を行えるようになった。	アパルトヘイトのもとでは、土地の所有や利用できる公共機関が人種によって法的に分けられていました。1991年の政策廃止以降は、それまで隔離されていたスポーツ観戦や学校などの場でも、人種を問わず多様な人々が共に過ごす風景が見られるようになりました。
問10	答え 4 マルタ会談	アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島で会談し、40年以上続いた冷戦の終結を世界に宣言しました。この直前には、東西分断の象徴であったベルリンの壁の崩壊が起きており、社会主義陣営の崩壊が決定定的となっていました。
問11	答え 1 マルタ会談	1980年代後半、ソビエト連邦のゴルバチョフ書記長は「ペレストロイカ（改革）」を進めて西側諸国との関係改善を図りました。1989年12月に地中海のマルタ島で行われたこの会談により、資本主義陣営と社会主義陣営が厳しく対立した冷戦時代の終わりが世界に示されました。
問12	答え 1 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。	岩手県の長期的な人口推移を見ると、1950年代に最初の大きなピークがあり、この時期に140万人を超えています。その後、21世紀初頭の2000年時点でも140万人近い水準にありましたが、そこから2010年にかけての10年間で約133万人まで減少しており、少子高齢化や社会増減の影響による人口減少局面に入っていることがわかります。「1900年から1940年の間に人口が2倍になった」という事実はなく、また「全時期を通じて80万人以下」という説明も誤りです。
問13	答え 1 冷戦の終結	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長は「ペレストロイカ」と呼ばれる社会主義体制の改革を進め、西側諸国との協調路線へ転換しました。1989年のマルタ会談では、資本主義陣営（西側）のアメリカと、社会主義陣営（東側）のソ連の両首脳が、長年にわたる対立構造の解消を世界に示しました。